

令和5年度ルンビニ保育園事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 170名

(2) 年齢別・月別入園児童数（各初日現在）

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	7	8	10	14	16	19	22	23	25	27	27	27	225
1～2歳児	53	53	53	54	54	56	57	57	59	59	60	60	675
3 歳 児	18	18	18	19	18	17	17	17	17	17	17	17	210
4歳以上児	45	45	47	48	48	49	49	49	49	49	49	49	576
計	123	124	128	135	136	141	145	146	150	152	153	153	1,686

(3) 職員数 令和5年度初 35名 令和5年度末 40名

(4) 職員の異動等

①採用

年月日	職 名	氏 名	年齢	資 格	備 考
R5.7.1	保育士			保育士資格	
R5.10.1	保育士			保育士資格	
R5.10.1	看護師			看護師資格	
R6.1.1	保育士			保育士資格	
R6.3.1	保育士			保育士資格	

②異動

年月日	職 名	氏 名	年齢	資 格	備 考
R5.4.1	保育士			保育士資格	配置換増←日宇保育所

③退職

年月日	職 名	氏 名	年齢	資 格	備 考
R5.7.31	保育士			保育士資格	一身上の都合により退職
R5.9.30	看護師			看護師資格	一身上の都合により退職
R5.11.30	保育士			保育士資格	一身上の都合により退職

(5) 職員会議の開催状況

月2回以上、職員会議を行った。日々の子ども達の様子を始め、行事連絡・相談、多様化していく保護者対応、気になる子への留意点・援助についてなど多方面に渡り意見を交わし合い、情報を共有できる様にした。給食内容検討会も月に一回行った。双方の会議録は全職員に周知した。不適切保育についても各々の発言や行為がそれに当たらないか、保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリストを活用して話し合ったり、関係機関からの情報や関連する報道内容の周知を行う事で保育の振り返りを行える様にした。よりよい共通理解の上で日々の連携に努めたがまだまだ課題は残る。引き続き次年度も努めていきたい。

2 保育の実施状況

今年度も漢字保育をはじめとする様々な活動や遊びを展開し、メリハリのある保育を心掛けた。子どもの健康面・安全面・基本的な生活習慣の自立支援にも配慮し、安心して園生活を送れる様努めた。

発達面で気になる子については保護者と密に園や家庭での様子について伝え合い、必要に応じて関係機関と連携をとりながら園全体で援助・見守りの体制づくりを行った。児童相談所の求めに応じて定期的に連絡を取り合う事もあった。5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類相当から5類に引き下げられた事で、体調の確認や消毒をしてもらった上ではあるが保護者参加人数制限なしでの行事の実施、保育参観など緩やかにコロナ禍以前の状況へと戻る事が出来た。健康カードの配布、保育中の検温、職員の体温計測・マスク着用、アルコール消毒液やクローラ水を使用しての手指や遊具・設備の消毒、保育室への園児・職員以外の入室制限などについては今年度も実施した。次年度はほぼコロナ感染予防の活動制限等がなくなり、保育の幅もより広がるのではないかと思う。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数(月・週指導回数)	委託先名
幼児体育指導		年19回 午前10時より	いむらスポーツクラブ
漢字保育指導		年7回 午前9時30分より	登龍館
英語遊び指導		年37回 午前10時45分より	E C C

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行事	実施年月日	行事
R5.4.8	花まつり参加(宙組 島瀬公園)	9.14	心の保育 9月誕生会
4.20	心の保育 4月誕生会	9.20	防災訓練(火災)
4.28	防災訓練(火災)	10.6	運動会 東部スポーツ広場体育館
5.11	漢字保育	10.12	防犯訓練(不審者)
5.12	園内花まつり	10.18	心の保育 10月誕生会
5.15	交通安全教室	10.19	漢字保育
5.18	心の保育 5月誕生会	10.26	バスハイク 宙組(針尾保育園 どんぐり山)
5.20	親子歓迎遠足(西海橋公園)	10.31	防災訓練(火災)
5.24	バスハイク 宙組(西海の丘公園)	11.3	広田ふるさと祭り参加(宙組)
5.26	防災訓練(火災)	11.9	交通安全教室
5.30	バスハイク 星組(市内中心部方面)	11.11	鍛錬遠足
6.8	歯科検診	11.15	総合防災訓練
6.15	心の保育 6月誕生会	11.18	内科検診
6.22	防災訓練(火災)	11.22	心の保育 11月誕生会
6.23	バスハイク 宙組(第二西海橋)	11.30	漢字保育
6.24	内科検診	12.14	漢字保育
6.29	漢字保育	12.20	心の保育 12月誕生会
6.30	バスハイク 星組(第二西海橋)	12.26	防災訓練(火災)
7.5	防災訓練(津波)	1.12	防災訓練(火災)
7.6	七夕集会 心の保育 7月誕生会	1.24	心の保育 1月誕生会
7.7	バスハイク 星組(西浄寺)	1.25	漢字保育
7.10	宙組 相浦プールへ	2.1	節分集会 心の保育 2月誕生会
7.13	バスハイク 宙組(西浄寺)	2.9	交通安全教室

7.20	漢字保育	2.10	お遊戯会 アルカスSASEBO大ホール
7.24	防災訓練(火災)	2.16	防災訓練(火災)
7.28	夏まつりごっこ	3.4	雛まつり 心の保育 3月誕生会
8.18	心の保育 8月誕生会	3.16	卒園式
8.23	防災訓練(火災)	3.26	防災訓練(火災)
8.30	バスハイク 宙組(針尾保育園 プール遊び)	3.28	防犯訓練(不審者)
9.5	防災訓練(地震)		

5 職務分担表(令和5年度最終版)

職名及び氏名	職 務 内 容	
園長 古峨 正人 苦情解決責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理 (人事、労務、施設、防火) 3 保育業務の管理	4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等 との連携、及び地域活動 7 苦情解決責任者
副園長	1 園長の補佐	2 運営管理、保育業務の補佐
主任保育士 苦情受付担当者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 全体的な計画の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する指導助言 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付担当者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	* 宙組の担任	
保育士	* 星組の担任	
保育士	* 月組の担任	
保育士	* 虹組の担任	
保育士	* 花1組の担任	
保育士 看護師	* 花0組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除の点検 3 備付物品に関すること	2 共同遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること	2 図書管理
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関すること	
保育士	1 保健衛生に関すること	
看護師 衛生推進者	1 衛生推進に関すること 2 医薬品の整備、保管	3 検便に関すること 4 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること
保育士	1 延長保育促進事業に関すること	
保育士	1 心の保育に関すること	
保育士 食育担当者	1 食育に関すること	
用務員	1 用務に関すること	
調理員	1 献立の作成、及び給食材料の発注、検収 2 給食人員の把握 3 調理、配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備

(1) 施設の改築修繕（100万以上）

年月	工 事 名	金 額 (円)
	なし	

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年月	物 品 名	金 額 (円)
R5.5.12	パティオランド スヌーピー	1,420,000
R5.7.20	コニカミノルタ bizhub c250is カラー複合機	700,000
R6.1.17	園児用遊具 ハイハイの丘	300,000
R6.1.17	園児用遊具 OTOMORI	260,000
R6.3.26	監視カメラシステム一式	421,300

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

職員各々が定期的(年2回)に自身を振り返り反省し、それを踏まえて次の目標を掲げる事で自己の研鑽につなげる事が出来た。

(2) 保育園における自己点検・自己評価

年度末に職員全体で評価・見直しを行った。その結果を踏まえ、施設長の責務の下で保育所全体の点検評価を行った。

園全体の評価を4段階で表した。外部への公表も行い当園の現状及び改善点が明らかになり、来年度の保育の向上につなげた。

8 職員の研修参加状況

研修に参加する事でそれぞれの事項について情報を得たり、理解を深める事が出来た。キャリアアップ研修にも参加し、スキルアップに努めた。研修参加者が職員会議で報告を行う事で全職員への理解にもつなげた。キャリアアップ研修については今年度もオンデマンド形式の研修が主であったが他の外部研修に関しては集合研修が増えた。法人内研修も予定通り行う事が出来た。

外部研修

年月日	研 修 会 名	参 加 者 名
R5.6.1	長崎県保育協会 食育研修会	
6.29	長崎県保育協会 施設長研修会	
7.28	長崎県保育協会 初任者研修会	
8.3	株式会社登龍館 夏期指導者研修会	
8.25	長崎県保育協会 保育士部会研修会	
8.30	長崎県保育協会 保育研修会	
9.6	長崎県保育協会 女性部会研修会	
9.12	長崎県保育協会 主任・主幹研修会	
10.18	長崎県保育協会 保健研修会	
12.11	安全衛生人材開発協会 衛生推進者養成講習	

12.19・20	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《幼児教育》	
12.27・28	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《保護者支援・子育て支援》	
R6.1.4・5	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《幼児教育》	
1.4～6	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	
1.9・10	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	
1.11・12	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《障害児保育》	
1.11～13	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	
1.15・16	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《食育・アレルギー対応》	
1.17・18	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《マネジメント》	
1.18～20	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	
1.29・30	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《マネジメント》	
1.31・2.1	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	
2.2・3	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《障害児保育》	
2.3・5・6	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《幼児教育》	
2.5・6	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《幼児教育》	
2.6～8	令和5年度長崎県保育士等キャリアアップ研修 《乳児保育》	

法人内研修

○漢字保育研修 5/11 6/29 7/20 10/19 11/30 12/14 1/25 計7回

○法人内研修 6/27・11/9 佐々神田保育園 7/26 針尾保育園 8/29 日宇保育所
9/7 ルンビニ保育園 10/16 楠栖保育所 計6回

9 苦情処理受付状況

意見・要望・苦情・不満 受付件数 0件

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 ルンビニ保育園 ）

・ A、B、C、Dの4段階評価

- A：大変良い
 B：良い
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保 育 目 標 に つ い て	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。		○			前年度の評価・反省を話し合い、それを踏まえて今年度の全体的な計画を作成した。 各クラス・園全体で保育目標について共通理解を深め、実践に繋げる様努めたが思う様にいかない部分もあった。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。			○		
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保 育 に つ い て	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			各クラス、年齢や実態に即した指導計画を作成する様に努めた。 指導計画の書式の見直しを行い、指導計画や評価をよりよく出来る様にした。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。			○		
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			行事や時期に応じて臨機応変に各クラス保育を進めることが出来た。
行 事 に つ い て	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、前年度より行事をスムーズに行う事が出来た。 開催方法等、必要事項を的確に速やかに保護者へ知らせる様に努めた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職務分担表で職員の職務内容を明確に知らせる事で協働しやすい体制づくりに努めた。専門的な役割分担についてはまだ十分ではないため進めていきたい。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		定期的な職員会議はもちろん、行事前等必要に応じて職員会議を行う事で情報の共有や問題の改善を行った。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	年 齢 別・ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○		保育士同士の価値観の違いや経験差、職務の優先順位の異なり等により意見が食い違う事が多くあったが、わかり合おうとする場面もみられた。今後も同じ目標に向かって、足並みを揃えて協力し合える体制づくりを整えていきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。			○	
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○		
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		避難訓練や交通安全教室については計画通りに実施することが出来た。 日々の健康管理はもちろん、内科・歯科検診、尿検査(3歳児以上)等についても適切に行い、園児の健康留意に努めた。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
	研 修	所 内 研 修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○	
(2) 所内研修の計画・運営は適切か。				○		
(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。				○		
(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○		
所 外 研 修		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		研修内容を報告し合う事で共通理解を深める様にした。前年度より集合形式での研修が増えた。キャリアアップ研修ではオンデマンドでの研修が引き続き実施された。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○		

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				園児や保護者に関する個人情報の管理については全職員共通理解の下、慎重かつ適切に取り扱いを行った。 公文書・各種諸表簿についても同様に行った。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				遊具や用具については専門業者による定期点検や職員による週1回の安全点検を行う事で適切な管理や使用を行った。 必要に応じて情報の提供や注意喚起等の掲示を行った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正に行う事が出来た。
開かれた保育所づくり 施設間交流・連携 家庭・地域社会との連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。			○		就学前の園児が小学校に訪問する機会を持つことが出来た。子ども達にとってよい機会だったと思う。コロナ禍以前とまではいかないが少しずつ戻りつつあるのを感じた。 職員の情報交換も対面で行なう事が出来た。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。			○		各クラス、一日の参加人数を調整して半日の保育参観を行う事が出来た。地域の行事も一部再開し、参加する事が出来た。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所	子育て （１）地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○		必要に応じて保護者からの相談に応じる様になっている。 子どもの発達や健康状態について心配な場合、保護者の求めに応じて専門機関の情報を提供した。場合によっては専門機関と園が連携をとるようにした。
	支 援 の 推 進	（２）職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
	（３）医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
所 づ く り	情報 の 発 信	（１）保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○			適切に行う事が出来た。
外 部 評 価	（１）第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。 （２）保護者の意見を施設運営に反映しているか。				○	日常の保護者対応の中や連絡帳等で保護者の意見を汲み取り、出来る範囲で反映される様に努めた。
			○			